

カ テゴリを選ぶことなく、営業車からトランスポーターと幅広いユーザー層から支持されるハイエース。目的に合わせたボディ形状を選択できるラインナップの豊富な点やガソリン、ディーゼルといったエンジンを取りそろえ、スタイリッシュな外観も人気を博している理由だろう。

そんなハイエースを専門に、低価格で納付できるユースドカーを販売するのが寺本自動車の営業スタイルだ。走行距離の進んだ車両でも、ポイントを押さえて整備を施し、ユーザーの要望に合わせてチューニングやドレスアップまで、幅広い対応をしてくれる専門ショップとして知られている。

その寺本自動車のデモカーとして紹介するのは、2輪を搭載するためのトランスポーター。代表の寺本氏の弟が2輪のレーシングライダーである寺本吉選手ということもあり、レース車両を搭載するためのトランスポーターに改造されている。ハイエーススーパーロングのハイルーフを、シッフルながらも機能を優先したインテリアに実装。積載を重視してカスタムされている。

ポイントを押さえて手を入れたことで、走り優先しながらも視覚効果の高いデモカーとなっているのが特徴だ。ラゲッジスペースは大型2輪を搭載するためにウッドパネルを敷き詰め、レース車両を固定するためのフックを装備。スベアパーツや工具も搭載できることから、一台でサーキットの往復に不満のない仕上がりとなっている。

また、シートにはカバーを装着。スフラインクやシフトノブを変更することで高級感を演出しながら操作性も高めている。アメリカンな雰囲気を持たせた外観は、ボディサイドに貼られたテカール「T-REV」のCMのほか、イベント用としても活躍しているらしい。

走りのポテンシャルを向上しながら シーンに合わせた積載性能も発揮



Q INTERIOR

大 型2輪2台を楽に搭載できるスペースの広さがハイエーススーパーロング・ハイルーフの魅力。フロアにはウッドパネルを敷き詰めてフラットにすることで整備性を高める。シートカバーはクラッツィオ製をチョイス。シフトノブやステアリングはオリジナルのウッドに変更して高級感を演出する。



200系車型

Profile of トヨタ・ハイエース

HIACE

**2004年に登場した5代目は
現在も高い人気の傑作車**

15年ぶりにフルモデルチェンジを受けた200系はそのスタイリッシュな外観と広いラゲッジスペースなどから人気を博し、度重なるマイナーチェンジを受けながら現在も継続して販売される。ボディ形状も豊富でロング、スーパーロングやミドルーフ、ハイルーフまで用途に合わせて選択することが可能。アフターパーツも豊富にそろそろ。



ユースドハイエースをメインに取り扱いながら2輪のトランスポーター製作のほかチューンもOK。オリジナルパーツ製作など走りのポテンシャルは寺本自動車で引き上げることが可能だ

Text & Photo = 高橋明宏

Monthly OneMake Special!!

今月のワンメイクスPECIAL!

トヨタ・ハイエース

HIACE

tuned by TERAMOTO

寺本自動車



カ テゴリを選ぶことなく、営業車からトランスポーターと幅広いユーザー層から支持されるハイエース。目的に合わせたボディ形状を選択できるラインナップの豊富な点やガソリン、ディーゼルといったエンジンを取りそろえ、スタイリッシュな外観も人気を博している理由だろう。

そんなハイエースを専門に、低価格で納付できるユースドカーを販売するのが寺本自動車の営業スタイルだ。走行距離の進んだ車両でも、ポイントを押さえて整備を施し、ユーザーの要望に合わせてチューニングやドレスアップまで、幅広い対応をしてくれる専門ショップとして知られている。

その寺本自動車のデモカーとして紹介するのは、2輪を搭載するためのトランスポーター。代表の寺本氏の弟が2輪のレーシングライダーである寺本吉選手ということもあり、レース車両を搭載するためのトランスポーターにカスタムされている。ハイエーススーパーロングのハイルーフを、シッフルながらも機能を優先したインテリアに実装。積載を重視してカスタムされている。

ポイントを押さえて手を入れたことで、走り優先しながらも視覚効果の高いデモカーとなっているのが特徴だ。ラゲッジスペースは大型2輪を搭載するためにウッドパネルを敷き詰め、レース車両を固定するためのフックを装備。スベアパーツや工具も搭載できることから、一台でサーキットの往復に不満のない仕上がりとなっている。

また、シートにはカバーを装着。スフラインクやシフトノブを変更することで高級感を演出しながら操作性も高めている。アメリカンな雰囲気を持たせた外観は、ボディサイドに貼られたテカール「T-REV」のCMのほか、イベント用としても活躍しているらしい。

走りのポテンシャルを向上しながら シーンに合わせた積載性能も発揮



Q INTERIOR

大 型2輪2台を楽に搭載できるスペースの広さがハイエーススーパーロング・ハイルーフの魅力。フロアにはウッドパネルを敷き詰めてフラットにすることで整備性を高める。シートカバーはクラッツィオ製をチョイス。シフトノブやステアリングはオリジナルのウッドに変更して高級感を演出する。



200系車型

Profile of トヨタ・ハイエース

HIACE

**2004年に登場した5代目は
現在も高い人気の傑作車**

15年ぶりにフルモデルチェンジを受けた200系はそのスタイリッシュな外観と広いラゲッジスペースなどから人気を博し、度重なるマイナーチェンジを受けながら現在も継続して販売される。ボディ形状も豊富でロング、スーパーロングやミドルーフ、ハイルーフまで用途に合わせて選択することが可能。アフターパーツも豊富にそろおう。



ユースドハイエースをメインに取り扱いながら2輪のトランスポーター製作のほかチューンもOK。オリジナルパーツ製作など走りのポテンシャルは寺本自動車で引き上げることが可能だ

Text & Photo = 高橋明宏

Monthly
OneMake
Special!!

今月のワンメイクスPECIAL!

トヨタ・ハイエース

HIACE

tuned by TERAMOTO

寺本自動車

